

# 平成26年3月期 決算説明会

平成26年5月12日

株式会社 藤商事



証券コード 6257

1. 平成26年3月期 決算概要	P.2
2. 当社の取り組みと今後の課題	P.10
3. パチンコ・パチスロ市場の見通し	P.13
4. 平成27年3月期 通期業績計画	P.16
参考資料	P.23

# 1. 平成26年3月期 決算概要

# 決算ハイライト① 平成26年3月期 発売機種



## パチンコ遊技機 (新規タイトル)



©水木プロ

CRゲゲゲの鬼太郎 地獄からの使者  
(平成25年4月発売)



©東映ビデオ株式会社/「呪怨」製作委員会/「呪怨2」製作委員会/株式会社CELL

CR呪怨  
(平成25年7月発売)



©藤商事

CR KING of KEIBA  
(平成25年9月発売)



©藤商事

CR新アレジン  
(平成25年10月発売)



©皆川亮二・七月鏡一/小学館・TMS

CR PROJECT ARMS  
(平成25年11月発売)



©水木プロ

CRゲゲゲの鬼太郎 墓場からの招待状  
(平成25年12月発売)



©2011 赤松中学・株式会社KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武偵高校

CR緋弾のアリア  
(平成26年2月発売)

## パチスロ遊技機



©奥島ヒロ/講談社

パチスロRAVE  
エンドレスラッシュ  
(平成25年8月発売)



©水木プロ

パチスロゲゲゲの鬼太郎  
~ブラック鬼太郎の野望~  
(平成26年1月発売)

# 決算ハイライト② 販売台数



(販売台数は百台未満切捨て)

販売台数	平成25年3月期		平成26年3月期		対前年同期比
	販売台数	構成比	販売台数	構成比	
パチンコ遊技機	142,400台	97.6%	130,600台	96.2%	△11,700台
パチスロ遊技機	3,500台	2.4%	5,200台	3.8%	+1,600台
計	145,900台	100.0%	135,800台	100.0%	△10,000台

平成26年3月期 パチンコ販売台数					
	26,300台		10,100台		12,900台
	57,200台		1,800台	その他 (甘デジ、前期発売機種等)	10,700台
	4,500台		6,800台	—	—
平成26年3月期 パチスロ販売台数					
	3,700台		1,400台		

# 決算ハイライト③ 損益計算書



(単位：百万円)

	平成25年3月期		平成26年3月期		構成比増減	備 考
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>売上高</b>	<b>46,991</b>	<b>100.0%</b>	<b>41,830</b>	<b>100.0%</b>	—	◆売上高 販売台数の減少
売上原価	25,405	54.1%	20,726	49.5%	△ 4.5pt	
売上総利益	21,586	45.9%	21,104	50.5%	+4.5pt	◆各利益の減益
販管費	15,319	32.6%	16,875	40.3%	+7.7pt	
<b>営業利益</b>	<b>6,267</b>	<b>13.3%</b>	<b>4,229</b>	<b>10.1%</b>	<b>△ 3.2pt</b>	◆ROE 前期末 7.0% 当期末 5.9%
営業外収益	132	0.3%	118	0.3%	+0.0pt	
営業外費用	82	0.2%	91	0.2%	+0.0pt	
<b>経常利益</b>	<b>6,317</b>	<b>13.4%</b>	<b>4,256</b>	<b>10.2%</b>	<b>△ 3.3pt</b>	
特別利益	0	0.0%	1	0.0%	+0.0pt	
特別損失	859	1.8%	75	0.2%	△ 1.6pt	
<b>税引前当期純利益</b>	<b>5,458</b>	<b>11.6%</b>	<b>4,182</b>	<b>10.0%</b>	<b>△ 1.6pt</b>	
法人税等	2,334	5.0%	1,446	3.5%	△ 1.5pt	
<b>当期純利益</b>	<b>3,123</b>	<b>6.6%</b>	<b>2,735</b>	<b>6.5%</b>	<b>△ 0.1pt</b>	

# 決算ハイライト④ 貸借対照表



(単位：百万円)

	平成25年3月期末		平成26年3月期末		金額増減	備 考
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	41,759	76.4%	40,249	74.2%	△1,510	◆ <b>流動資産</b>
現金及び預金・有価証券	28,373	51.9%	27,726	51.1%	△647	前期末 当期末
商品及び製品	5	0.0%	3	0.0%	△2	現金及び預金 27,682 26,826
売上債権	3,871	7.1%	3,454	6.4%	△416	有価証券 691 900
その他	9,508	17.4%	9,064	16.7%	△444	計 28,373 27,726
<b>固定資産</b>	12,907	23.6%	13,965	25.8%	+1,057	
有形固定資産	6,536	12.0%	6,739	12.4%	+203	前期末 当期末
その他	6,370	11.7%	7,225	13.3%	+854	流動比率 574% 712%
<b>資産合計</b>	54,666	100.0%	54,214	100.0%	△452	当座比率 443% 552%
<b>流動負債</b>	7,271	13.3%	5,652	10.4%	△1,618	◆ <b>流動負債</b>
仕入債務	4,478	8.2%	3,673	6.8%	△804	仕入債務の減少
その他	2,792	5.1%	1,979	3.7%	△813	未払法人税等の減少
<b>固定負債</b>	1,615	3.0%	1,556	2.9%	△59	
<b>負債合計</b>	8,887	16.3%	7,209	13.3%	△1,677	
<b>純資産合計</b>	45,779	83.7%	47,004	86.7%	+1,224	

# 決算ハイライト⑤ キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	金額増減	平成26年3月期の内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	2,554	3,657	+1,102	増加要因：税引前当期純利益 4,182百万円 減価償却費 1,977百万円 前渡金の減少 698百万円 減少要因：法人税等の支払 2,342百万円 仕入債務の減少 1,014百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,679	△ 2,775	△ 96	増加要因：有価証券の償還 690百万円 減少要因：有形固定資産の取得 1,834百万円 投資有価証券の取得 1,284百万円
フリー キャッシュ・フロー	△ 124	882	+1,006	主な要因：営業活動によるキャッシュ・フローの増加
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,183	△ 1,888	△ 704	減少要因：配当の支払い 1,245百万円 自己株式 642百万円
現金及び現金同等物の 増減額	△ 1,308	△ 1,006	+302	
現金及び現金同等物の 期首残高	28,740	27,431	△ 1,308	自己資本比率 前期 83.7% 当期 86.7%
現金及び現金同等物の 期末残高	27,431	26,425	△ 1,006	



# 決算ハイライト⑥ 通期業績修正について



(単位：百万円)

	平成25年5月10日 発表		平成26年1月30日 発表		平成26年4月14日 発表		実績		備考
パチンコ遊技機	150,000台		130,000台		—		130,600台		◆販売計画台数の修正 ・「CR緋弾のエリア」の販売に注力 ・各種の経費圧縮
パチスロ遊技機	10,000台		5,000台		—		5,200台		
売上高	50,000	100.0%	40,500	100.0%	41,800	100.0%	41,830	100.0%	◆売上高、各利益を増額修正
営業利益	7,000	14.0%	3,000	7.4%	4,200	10.0%	4,229	10.1%	
経常利益	7,000	14.0%	3,000	7.4%	4,200	10.0%	4,256	10.2%	
当期純利益	4,000	8.0%	2,000	4.9%	2,600	6.2%	2,735	6.5%	
1株当たり 当期純利益	※160.67円	—	80.34円	—	104.72円	—	110.17円	—	

(※) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該分割が当事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

## ① 自己株式取得の目的

資本効率の向上を図るとともに、機動的な資本政策の遂行および株主への利益還元を目的として、自己株式の取得を行うものであります。

## ② 取得の内容

1. 取得期間	平成26年2月3日から平成26年2月20日まで
2. 取得株式数	500,000株
3. 取得総額	642,614,700円
4. 取得方法	東京証券取引所における市場買付

(ご参考)	平成26年3月末の自己株式の保有状況	
	発行済株式総数(自己株式を除く)	24,395,500株
	自己株式数	1,100,000株

## 2. 当社の取り組みと今後の課題

# 平成26年3月期 各課題の達成状況



課題①	課題②	課題③
稼働本位	新たな流行を創り出す ヒット機種の実現	販売計画の着実な達成
達成状況	達成状況	達成状況
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 国民的まんがをモチーフにした機種の作りこみ</li><li>■ 伝説の名機を復刻し、休眠層の掘り起こしを実施</li><li>■ 稼働面で課題が残る</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 『緋弾のアリア』の市場投入で「萌えジャンル」に参入し、手応えをつかむ</li><li>■ 一定の稼働は残せたが、実販売台数につながらなかった</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 第2四半期までは好調</li><li>■ 第3四半期の投入機種は商品力不足</li><li>■ 第4四半期の投入機種で盛り返したものの、当初計画には届かず</li></ul>

## 『ブランド力の構築』～知恵と工夫～

### 1. 稼働本位

- 遊技者目線の遊技機
- パチンコファンを魅了する「オモシロさ」を提供

### 2. 新たな流行を創り出すヒット機種の実現

- 新ジャンルの開拓
- 独自性の追求
- 差別化商品の実現

### 3. 販売計画の着実な達成

- 効率的かつ効果的なタイミングで商品を投入

### 3. パチンコ・パチスロ市場の見通し

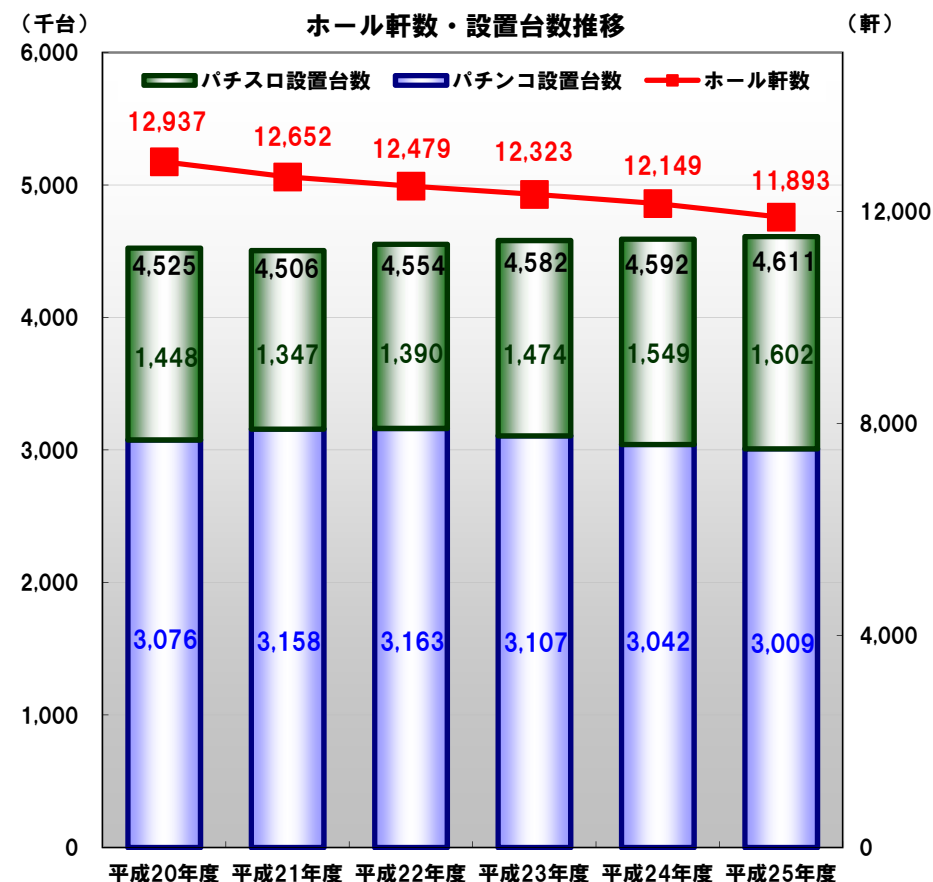
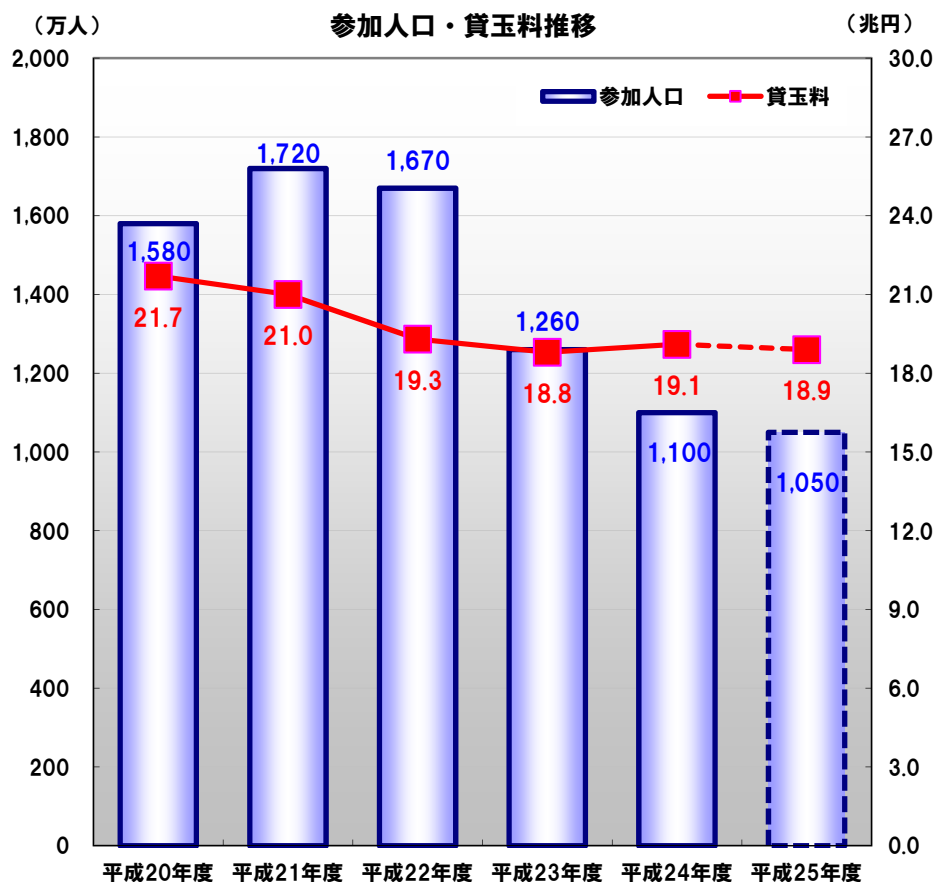
# パチンコ・パチスロ市場の推移



項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
参加人口 (万人)	1,580	1,720	1,670	1,260	1,100	1,050 (当社予想)
貸玉料 (兆円)	21.7	21.0	19.3	18.8	19.1	18.9 (当社予想)

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ホール軒数 (軒)	12,937	12,652	12,479	12,323	12,149	11,893
設置台数 (千台)	パチンコ	3,076	3,158	3,163	3,107	3,042
	パチスロ	1,448	1,347	1,390	1,474	1,549
						3,009
						1,602

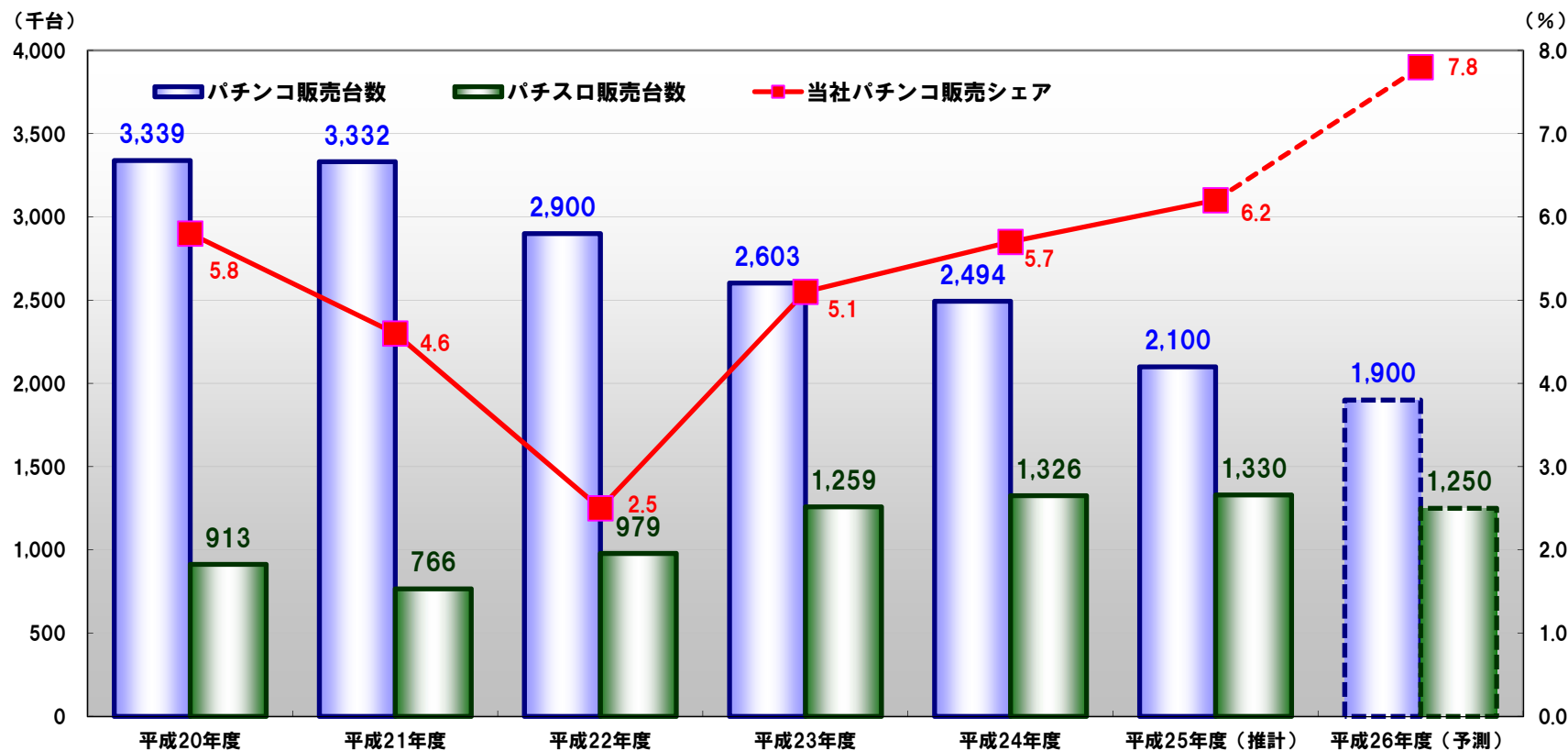


出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・日本生産性本部『レジャー白書』（参加人口・貸玉料）

# 遊技機市場の販売台数推移



遊技機の市場販売台数と当社パチンコ販売台数シェアの推移



当社パチンコ販売台数 (千台)						
平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 (実績)	平成26年度 (計画)
194	156	73	135	142	130	148

データ出所：(株)矢野経済研究所「2013年版 パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」より平成20年度～24年度の実績値 ※平成25年度・26年度は当社推計値・予測値

## 4. 平成27年3月期 通期業績計画

## パチンコ遊技機

発売予定新機種数 7機種 販売計画台数148,000台

- 稼働実績のある「CRヴァン・ヘルシング」新シリーズを発売
- 当社看板のホラーパチンコ遊技機を市場投入

## パチスロ遊技機

発売予定新機種数 2機種 販売計画台数 12,000台

- 当社看板コンテンツをモチーフとしたホラーパチスロ遊技機を投入
- ニーズにマッチした商品の投入

# 平成27年3月期 通期業績計画



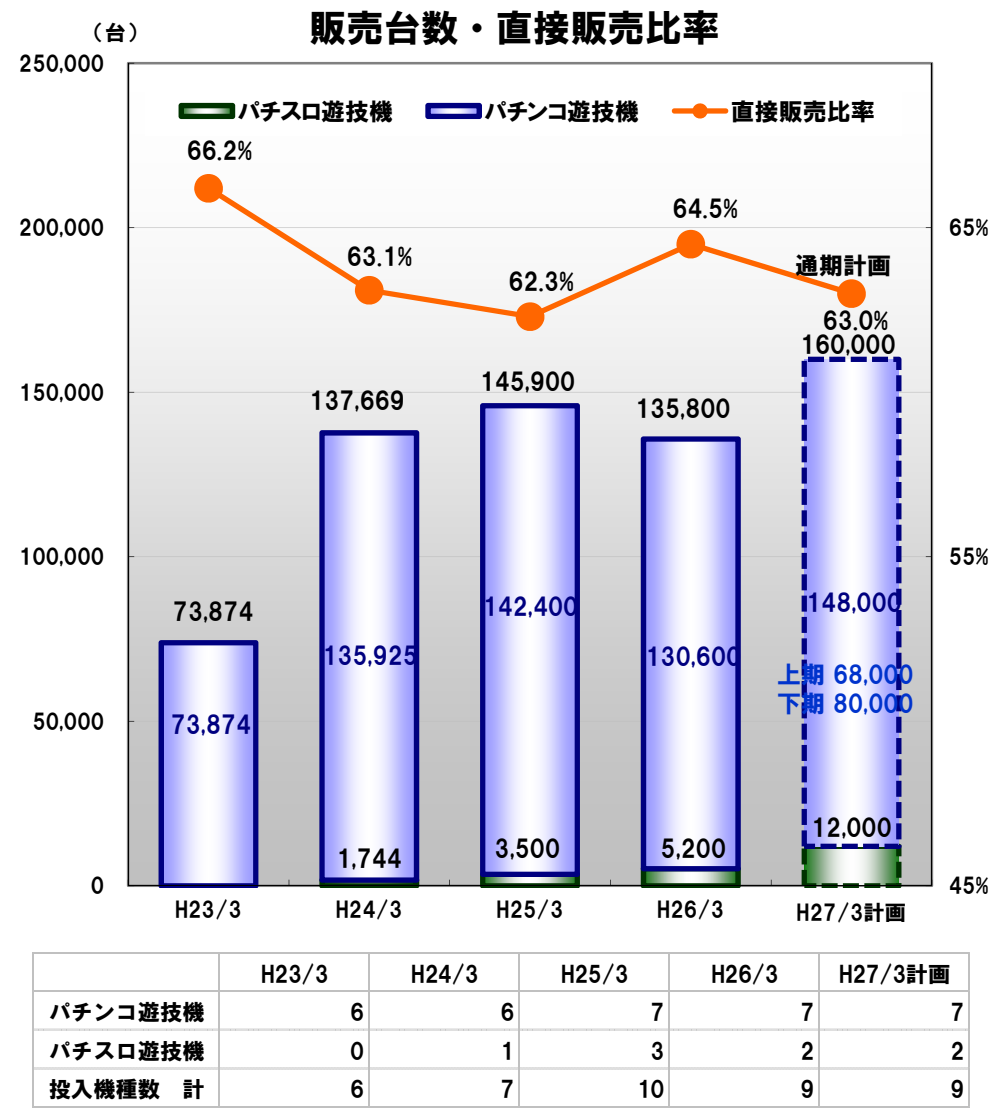
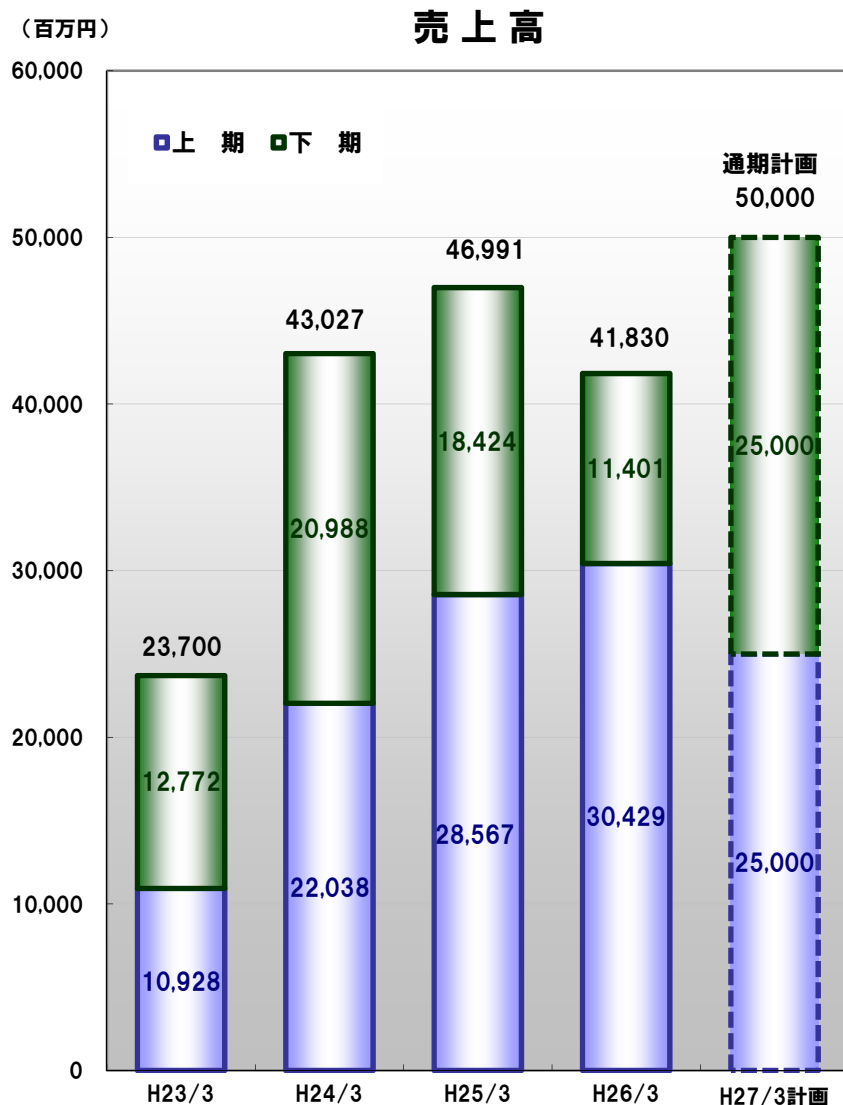
(単位：百万円、販売台数は百台未満切捨て)

項目	平成26年3月期 実績		平成27年3月期 計画		対前期比 増減
発売機種数・販売台数 (新規タイトル)	9機種	135,800台	9機種	160,000台	+24,100台
パチンコ	7機種	130,600台	7機種	148,000台	+17,300台
パチスロ	2機種	5,200台	2機種	12,000台	+6,700台
売上高	41,830	100.0%	50,000	100.0%	+8,169
営業利益	4,229	10.1%	5,000	10.0%	+770
経常利益	4,256	10.2%	5,000	10.0%	+743
当期純利益	2,735	6.5%	3,300	6.6%	+564
1株当たり当期純利益	(*1) 110.17円		135.27円		+25.10円
1株当たり配当金	(*2) 50.00円		50.00円		—
配当性向	45.4%		37.0%		—

(※1) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該分割が当事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(※2) 当期の1株当たり配当金につきましては、2,500円の間配当金を実施済みであり、期末配当につきましては、25円とさせていただきます。なお、上記1株当たり配当金につきましては、株式の分割を考慮した数値で算定しております。

# 業績推移① 売上高・販売台数等



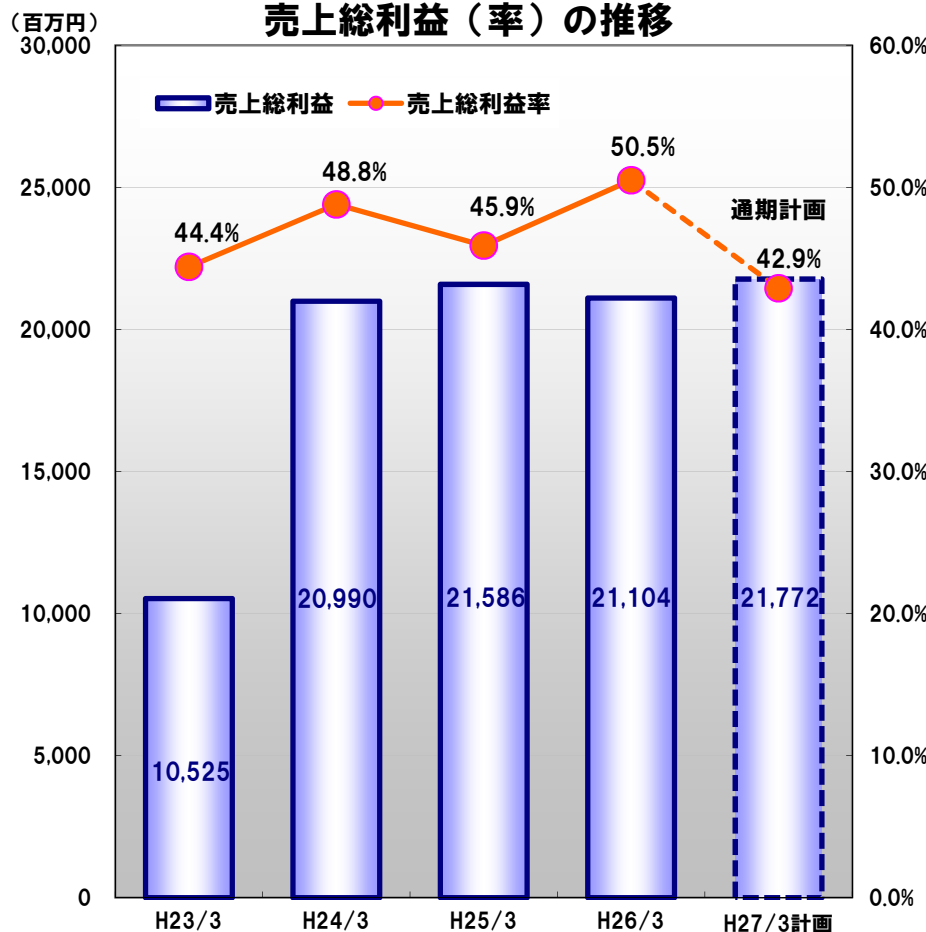
	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3計画
パチンコ遊技機	6	6	7	7	7
パチスロ遊技機	0	1	3	2	2
投入機種数計	6	7	10	9	9

※投入機種数は、新規タイトル数

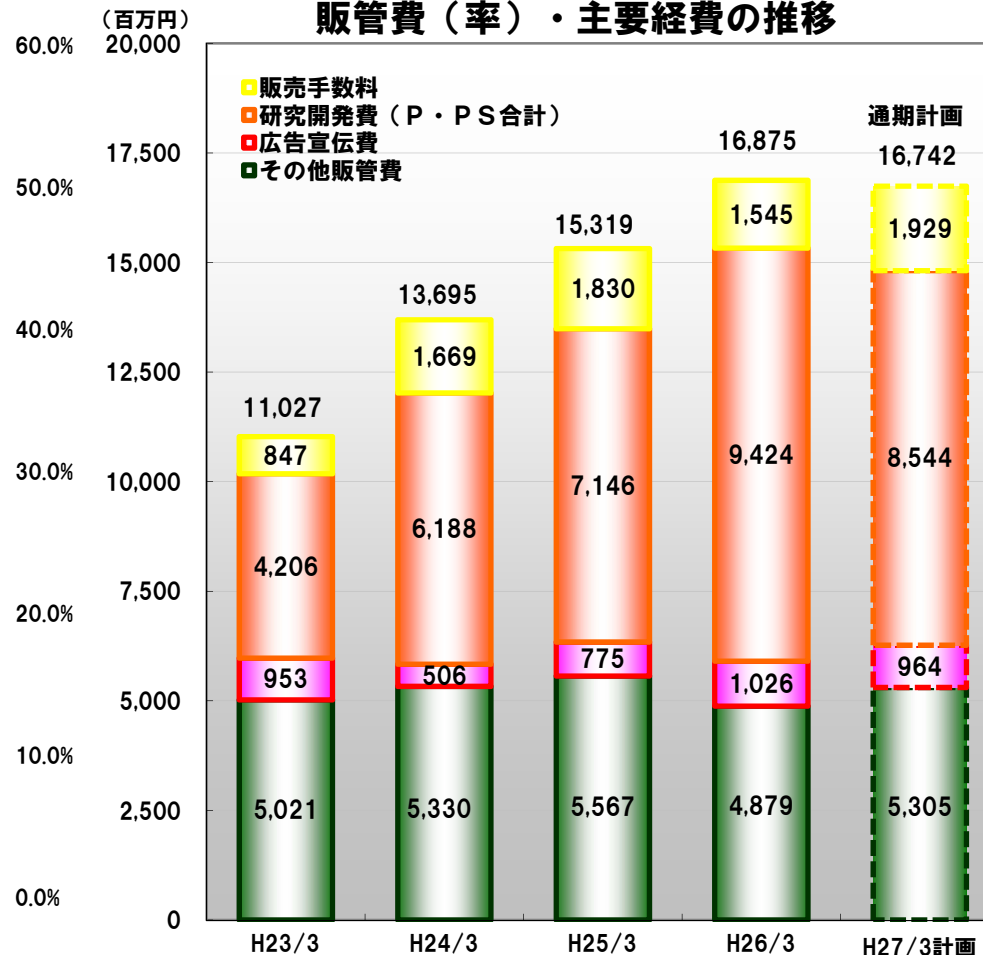
# 業績推移② 売上総利益・販管費



### 売上総利益（率）の推移



### 販管費（率）・主要経費の推移



	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3計画
営業人員	180名	173名	179名	181名	185名
開発人員	127名	142名	153名	159名	173名
その他	74名	72名	77名	86名	87名
全社人員	381名	387名	409名	426名	445名

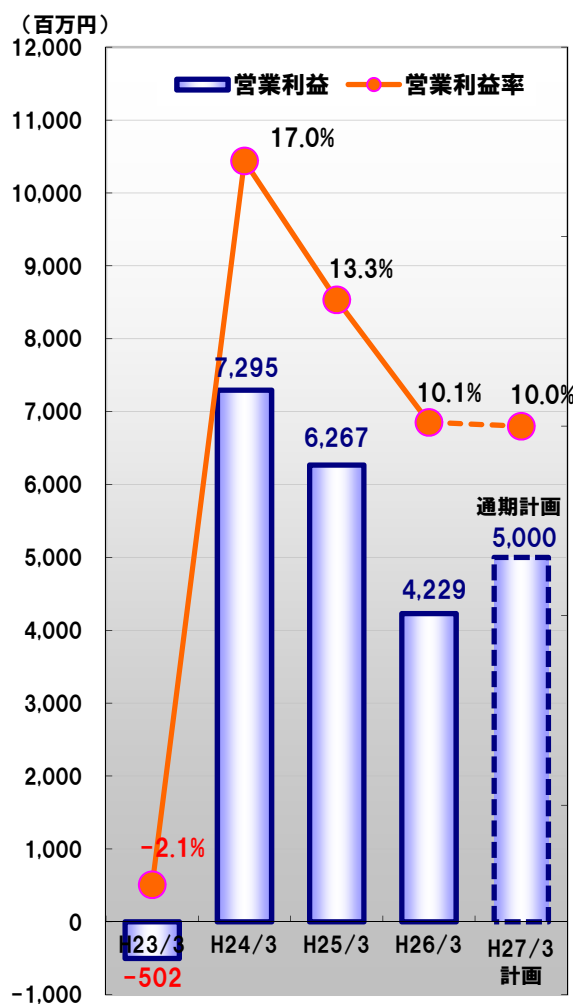
	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3計画
販管比率	46.5%	31.8%	32.6%	40.3%	33.5%
手数料率	3.6%	3.9%	3.9%	3.7%	3.9%
研究開発費率	17.7%	14.4%	15.2%	22.5%	17.1%
広告宣伝費率	4.0%	1.2%	1.6%	2.5%	1.9%

※各比率は、売上高に対する比率

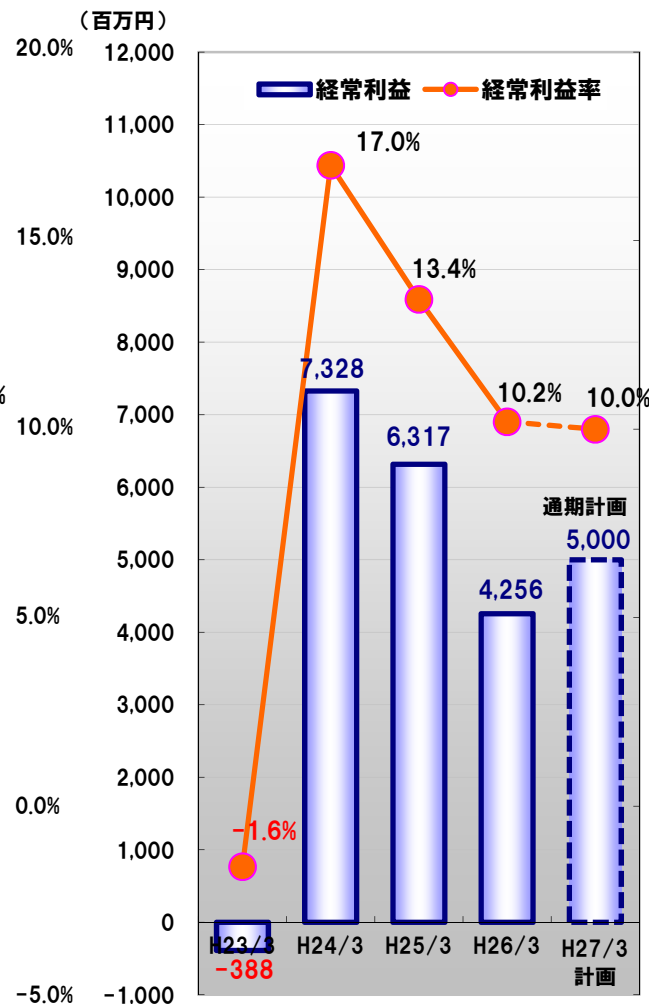
# 業績推移③ 営業利益・経常利益・当期純利益



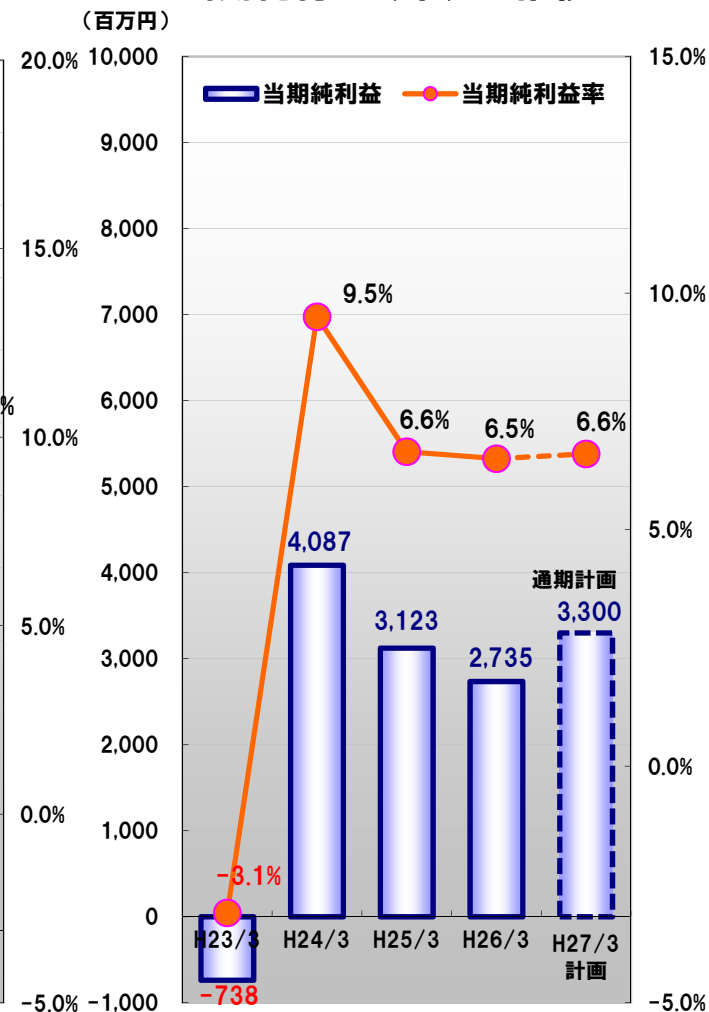
## 営業利益（率）の推移



## 経常利益（率）の推移



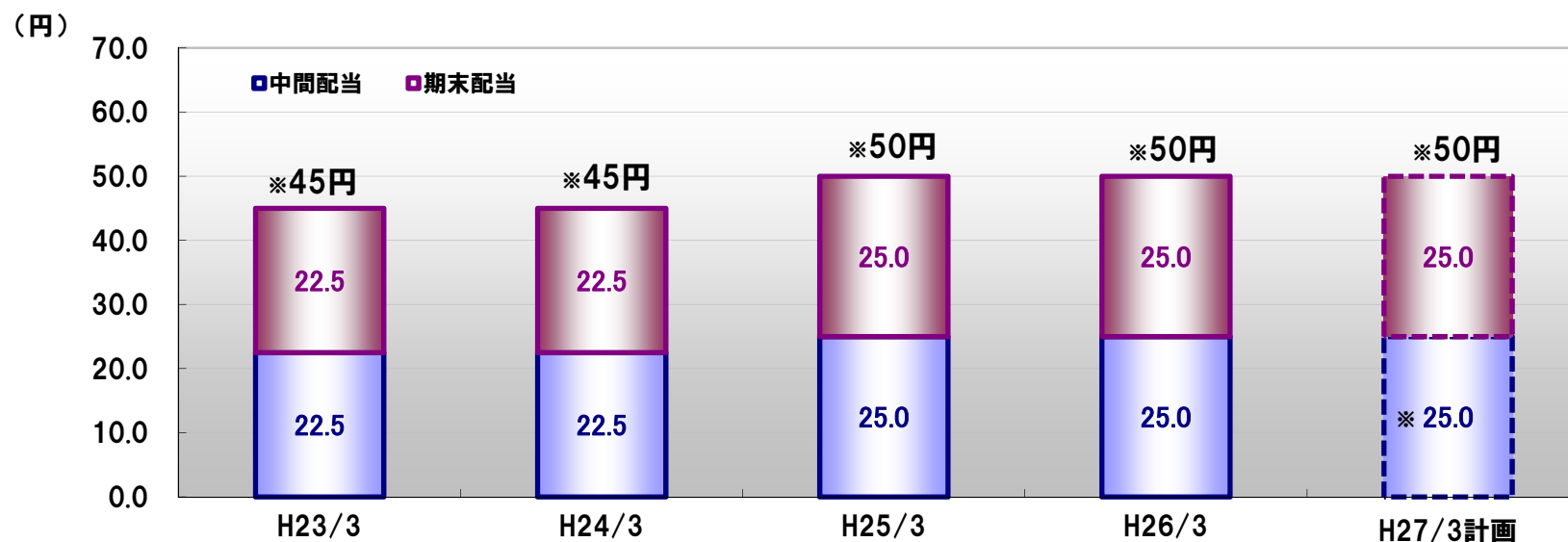
## 当期純利益（率）の推移



## 配当政策・配当方針

継続した配当を基本方針とし、経営成績および配当性向等を総合的に勘案

平成27年3月期 1株当たり配当金は、**通期50円を予定**



	H23/3	H24/3	H25/3	H26/3	H27/3計画
当期純利益 (百万円)	△738	4,087	3,123	2,735	3,300
配当性向	—	27.4%	39.9%	45.4%	37.0%
純資産配当率	2.7%	2.7%	2.8%	2.7%	—

(※) 当期の1株当たり配当金につきましては、2,500円の間配当金を実施済みであり、期末配当につきましては、25円とさせていただきます。なお、上記数値につきましては、株式の分割を考慮した数値で算出しております。

## 参考資料



本社外観

社名	株式会社 藤商事
設立	昭和41年10月
代表者名	代表取締役社長 松元 邦夫
資本金	32億81百万円（平成26年3月31日現在）
売上高	418億円（平成26年3月期）
従業員数	426名（平成26年3月31日現在）
事業内容	パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売



## 当社のコーポレートスローガン

<ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して！>

- 「ヒト味」は「人間味」を表しており、パチンコ・パチスロに情熱を持ち続け、可能性のある限り挑戦するモノづくりに取り組む姿勢を表しております。
- このコーポレートスローガンを「ヒト味違う“オモシロ”さ！」と短縮し、企業ロゴに表示しております。
- 企業ロゴの左側には、藤の花とイニシャル（F）をモチーフに、円の集合体を形成しております。これは、人間の持つ個々の特異性が融和されることによって生まれる人と人とのふれあいの大切さを表しております。

# 主な沿革



- 1966年10月      じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立
- 1973年10月      アレンジボール遊技機の製造および販売を開始
- 1989年11月      パチンコ遊技機事業に参入。パチンコ遊技機の製造および販売を開始
- 1992年 4月      アレンジボール遊技機 「アレジン」、「エキサイト」 ヒット
- 2003年 9月      パチスロ遊技機事業に参入。パチスロ遊技機の生産および販売を開始
- 2003年11月      「CRサンダーバード2」 パチスロ遊技機「サンダーバード3」 発売
- 2004年 3月      「CR暴れん坊将軍」 発売
- 2007年 2月      ジャスダック証券取引所に上場 （2007年11月 J-Stock銘柄に選定）
- 2007年11月      「CR宇宙戦艦ヤマト」 発売
- 2009年12月      「CR新暴れん坊将軍 吉宗危機一髪！」 発売
- 2010年 4月      ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQ市場に上場
- 2011年 7月      「CRリング 呪いの7日間」 発売
- 2013年 3月      サン電子株式会社と資本・業務提携契約を締結
- 2013年 7月      東京証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場
- 2014年 3月      東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）にて貸借銘柄に選定



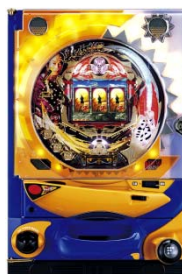
じゃん球遊技機



アレンジボール遊技機  
エキサイト



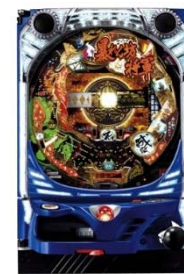
パチスロ遊技機  
サンダーバード3



パチンコ遊技機  
CR暴れん坊将軍



パチンコ遊技機  
CR宇宙戦艦ヤマト



パチンコ遊技機  
CR新暴れん坊将軍



パチンコ遊技機  
CRリング 呪いの7日間



パチスロRAVE  
エンドレスラッシュ

# 地域展開の状況

本社 : 大 阪 (中央区)  
営業拠点数 : 全国 19 拠点 (2 支店・17 営業所)  
製造拠点 : 名古屋 (愛知県一宮市)  
開発拠点 : 名古屋 (愛知県一宮市)  
東 京 (千代田区)



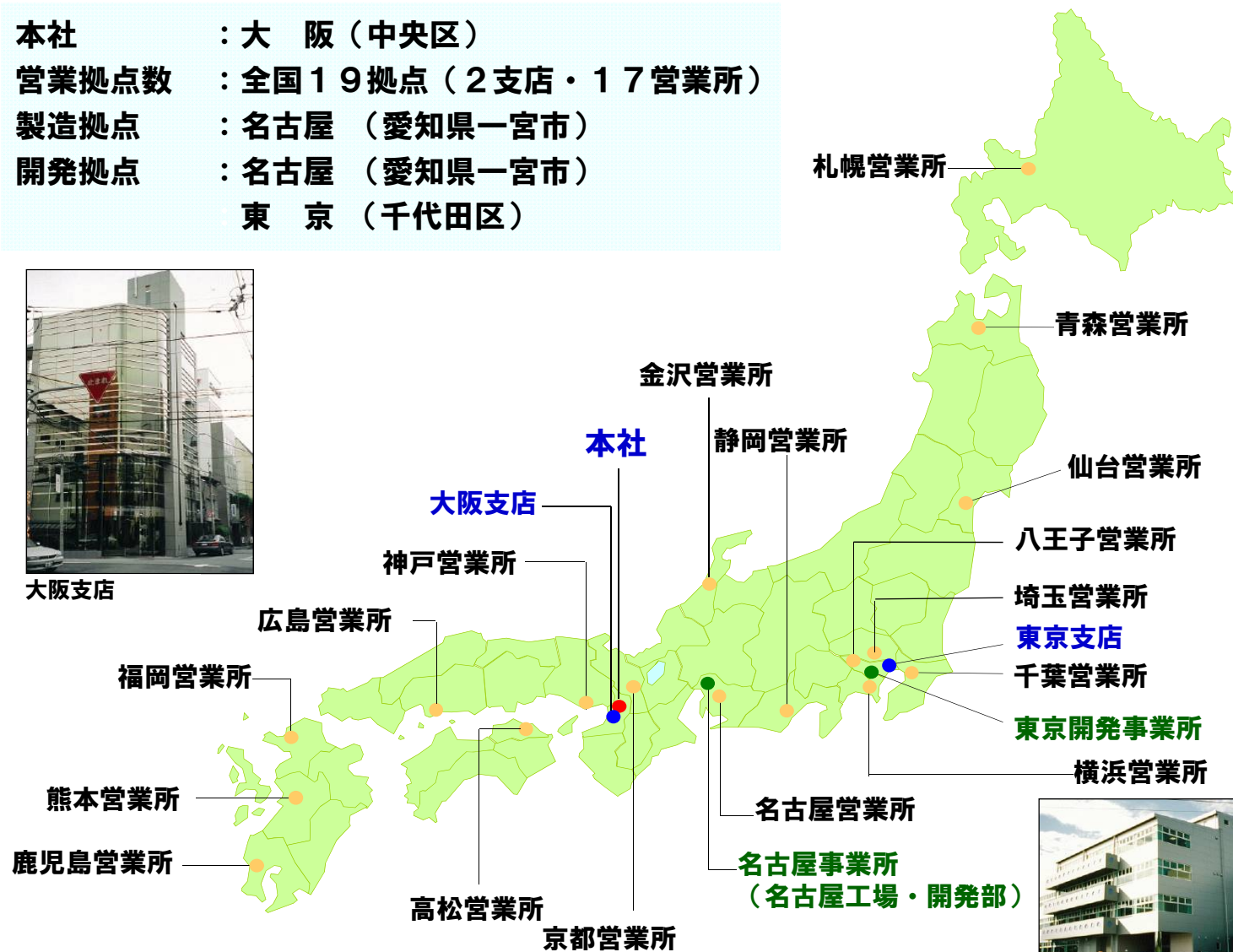
大阪支店

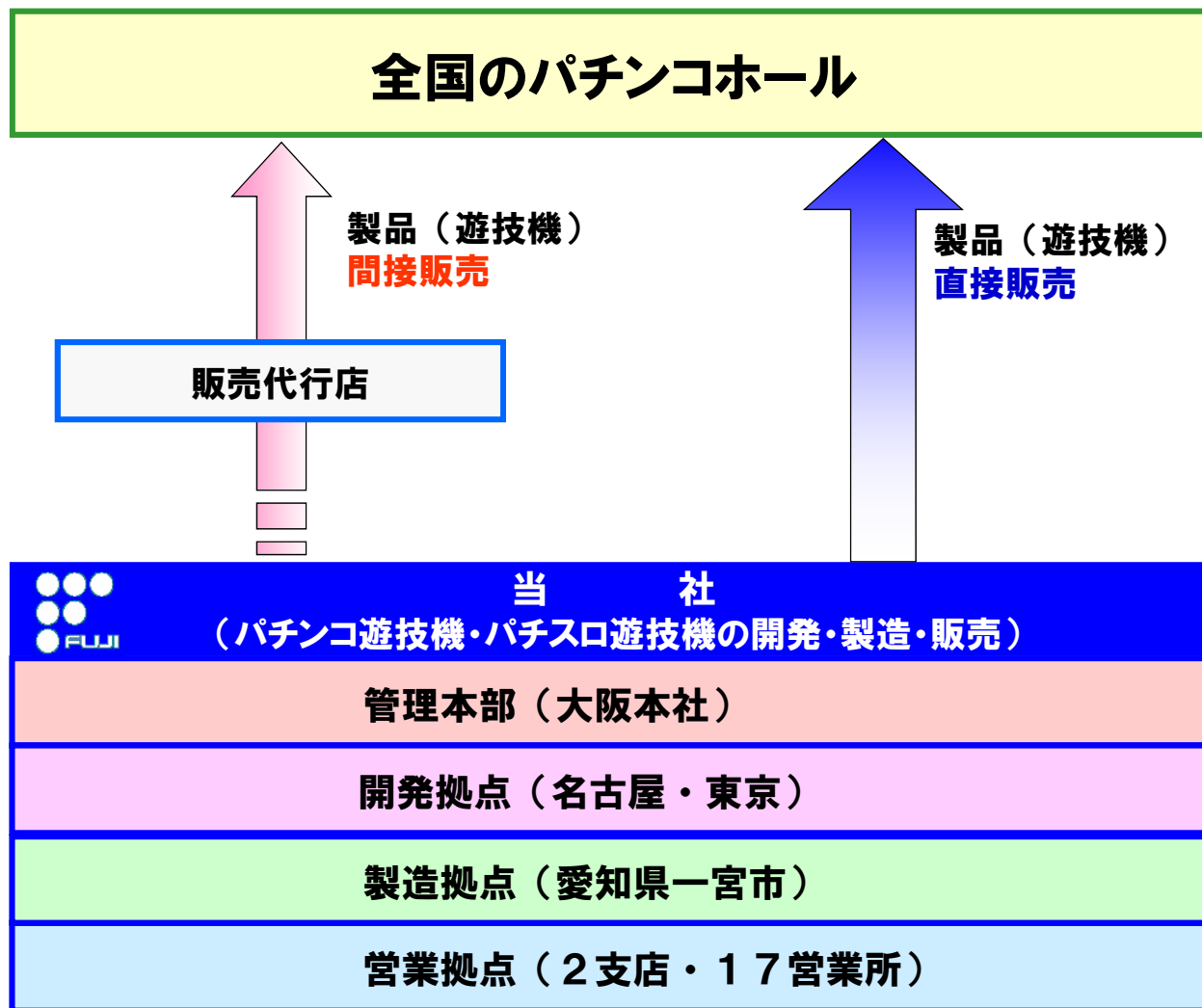


東京支店



名古屋事業所





(株) J F J (非連結子会社) (株) サンタエンタテイメント (持分法非適用関連会社)

## <本体販売とパネル販売>

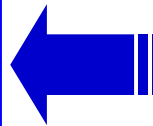


©2011 赤松中学・株式会社KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武蔵高校

<本体販売>

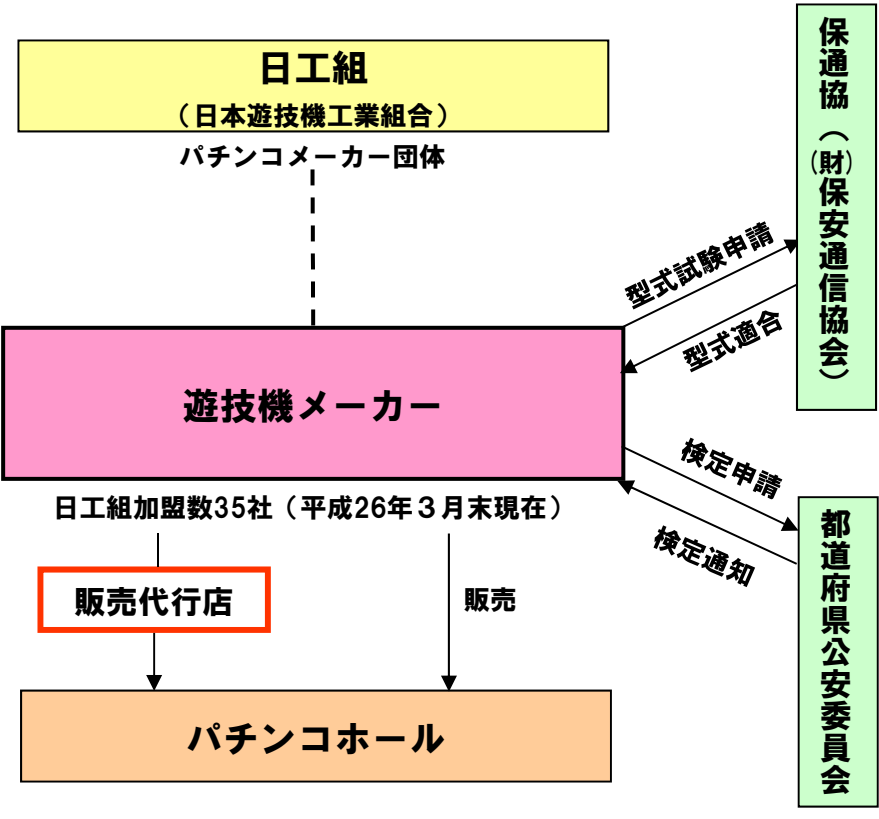


<パネル販売>



※外枠(本体)は一度購入すれば以後の機種では、盤面(パネル)のみ入替を行うことにより、継続して使用可能。(枠が同一モデル機種の場合)枠をモデルチェンジした最初の機種は、全て枠付きでの販売となります。

## <業界関係図>



## ■ お問い合わせ先

**株式会社 藤商事 経営企画本部 広報・IR 室**

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174

- 本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承下さい。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。